

$$\text{市民一人当たり納税額} = \frac{\text{市 税}}{\text{人 口}} = 80,995\text{円}$$

$$\text{市民一人当たり予算額} = \frac{\text{一般会計}}{\text{人 口}} = 426,798\text{円}$$

今年度の主な事業

- ① 地方公会計整備促進支援事業
- ② 島しょ地域移住・定住者向け情報整備事業
- ③ 浜中学校跡地活用事業
- ④ うるま市総合計画策定事業
- ⑤ 世界のウチナンチュ大会うるま市出身者歓迎事業
- ⑥ 臨時福祉給付金事業
- ⑦ 保育施設整備事業
- ⑧ 保育体制強化事業
- ⑨ 沖縄子供の貧困対策事業
- ⑩ 放課後児童健全育成事業
- ⑪ 健康うるま21推進事業
- ⑫ うるま市地域雇用人材育成事業 ※
- ⑬ うるま市就労支援事業 ※
- ⑭ 農水産業振興戦略拠点施設整備事業 ※
- ⑮ 災害に強い栽培施設の整備事業
- ⑯ 照間ビーグ活性化プロジェクト事業 ※
- ⑰ 農業基盤整備促進事業（石川前田地区）
- ⑱ 漁村地域整備交付金事業（うるま地区）
- ⑲ 商品開発プロモーション事業 ※
- ⑳ 島アートプロジェクト事業 ※
- ㉑ 川崎ルーシー河線道路改良事業
- ㉒ 兼箇段喜仲線道路改良事業
- ㉓ 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業 ※
- ㉔ 旧桃原小学校跡地緑地広場整備事業
- ㉕ 長田団地建替事業
- ㉖ 与勝消防署庁舎建設事業
- ㉗ 小学校学力向上対策推進事業 ※
- ㉘ 中学校学力向上対策推進事業 ※
- ㉙ 高江洲小学校校舎増改築事業
- ㉚ 天顔小学校校舎増改築事業
- ㉛ 勝連小学校校舎増改築事業
- ㉜ 生涯学習センター新築事業 ※

※は沖縄振興特別推進交付金を活用した事業です。

差額 = ▲ 345,803円

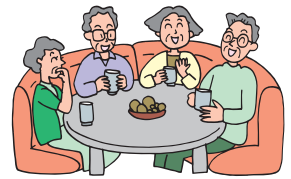
市民一人当たりの納税額と予算額の差額34万5,803円は地方交付税や国県の支出金、また市の借金等で賄われています。

予算額の内訳を市民一人あたりで見ると…

(平成28年4月1日現在の人口122,087人で換算)

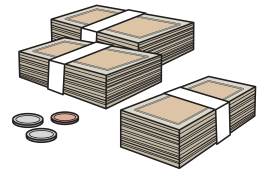
総務費 26,777円

民生費 200,094円



土木費 41,285円

公債費 40,144円



教育費 58,260円

その他 60,239円



【予算で使われる用語の意味】

【一般会計と特別会計】

一般会計は福祉や教育、道路・公園や衛生など市の基本的な施策を行うための会計で、特別会計は特定の収入をもって特定の事業を実施するために設けられている会計です。

【自主財源と依存財源】

自主財源は、市税やごみ処理手数料など市が自主的に収入できる財源のことで、依存財源は、国や県から交付されたり割り当てられる収入のことで。

【市税】

市民税や固定資産税など、市民や市内の事業所などが納めた税金です。

【地方交付税】

全国的に一定水準の行政サービスが実施できるよう、歳入の格差を調整するために国から配られるお金です。

【国・県支出金】

事業を実施するための特定目的の財源として、国や県から交付される使いみちが決められているお金です。

【総務費】

市の全般的な管理事務・事業や交通安全、防犯対策等に要する費用です。

【民生費】

児童、高齢者、障害者などの福祉に要する費用です。

【土木費】

道路建設や公園の整備、市営住宅の管理などに要する費用です。

【教育費】

幼稚園、小中学校をはじめ学校教育や社会教育・文化振興などの教育全般にわたる費用です。

【公債費】

地方公共団体が借り入れた市債（長期の借金）の元利償還金及び一時借入金の利子です。

【人件費】

職員等に対し勤労の対価、報酬として支払われる費用です。

【扶助費】

児童から高齢者まで幅広い市民を対象に国の法令や市の条例などに基づき、社会生活を援助するために支出する費用です。

【普通建設事業費】

学校や公営住宅、道路などを建設するための費用です。

〈お問合わせ先〉 うるま市企画部財政課 ☎098-973-6753